

政党助成法廃止法案を提出

「民主主義壊す制度続いているのか」

共産党議員団が参院に

日本共産党国会議員団は4日、「政党助成法廃止法案」を参院に提出。田村智子政策委員長が国会内で記者会見しました。



政党助成法廃止法案を提出する井上哲士（中央）、山添拓（右）両参院議員。4日、国会内

憲法違反の制度

政党助成金は、税金を政党に配分する仕組みによって支持しない政党にも強制的に寄付させられるものです。共産党は憲法違反の制度だと制度創設に反対、受け取りを拒否してきました。

19年参院選で選挙買収事件を起こした河井克行元法相と妻・案里氏に、自民党本部から提供された1億5千万円の資金のうち、1億2千万円が

政党助成金。また企業・団体献金禁止を口実に制度が導入されたのに、企業・団体献金は温存。政党助成金との“二重取り”が続けられています。

政党の劣化と墮落生む

田村氏は「政党の劣化と墮落を生み出している」「民主主義を壊す有害な制度を続けていいのかが問われる。すべての政党・会派に法案の国会審議を呼びかけ、世論と運動を起こしたい」と述べました。

2022年参院選の予定候補

【比例代表】

大門 みきし



参院議員 4期

【選挙区】

大阪 たつみ



前参院議員

兵庫 こむら 潤



党県政委員

京都 たけやま



党府女性部長

奈良 北野 いつ子



前大和郡山市議

制度解説

参院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書き
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
と書きます
参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

オミクロン株対策

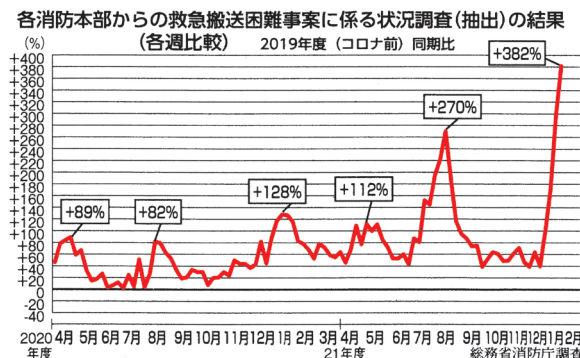
“なりゆき任せ”でなく 命・くらしを守る包括策示せ

共産党の志位和夫委員長は、「オミクロン株」の急速な感染拡大について、岸田政権の対応は「一言でいえば“なりゆき任せ”に終始している」と批判、包括的な対策を求めました。



記者会見する志位和夫委員長。3日、国会内

志位委員長が会見



ワクチンの3回目の接種率はいまだに5%程度とOECDで断トツの最下位。国会で「1日の接種目標を持つように」と提起したのに岸田首相は「目標は持たない」と答弁。PCR検査の検査能力の抜本的引き上げの提起にも後藤茂之厚労相は「目標は持たない」。“なりゆき任せ”で打開の目標も手立ても持っていません。

救急搬送困難事案はコロナ前の2019年比で、第1波のピーク時は

1.89倍、第5波は3.7倍、現下の第6波では既に4.82倍(グラフ)。志位氏は「救急医療の崩壊が始まっているのに、これへの手当てがされていない」と批判しました。

志位氏は「ワクチン、検査、医療、暮らしの問題を含めた命を守る対応策の全体像をパッケージで国会に提示し、国民の前で徹底議論を」と主張しました。

日本共産党

近畿民報

2022年2月 No.2(第492号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。